

アクションプランにおける重要な視点

SDGsの推進にあたっては、「5つの主要原則」の観点が重要であり、アクションプランのそれぞれの取組を単体で捉えるのではなく、複数の取組の相互関連性や相乗効果を重視して取り組む必要があります。

また、未来を担う子ども達が潜在力を発揮できる社会、全ての人々が自分らしく生き生きと活躍できる社会の実現に向けて、「人間の安全保障（2005年世界サミット成果文書）」の視点を重視する必要があります。

アクションプランの全ての取組において「ジェンダー平等の達成と女性のエンパワメント」を重要な手段として捉えて取り組むことが必要です。

● SDGsの5つの主要原則

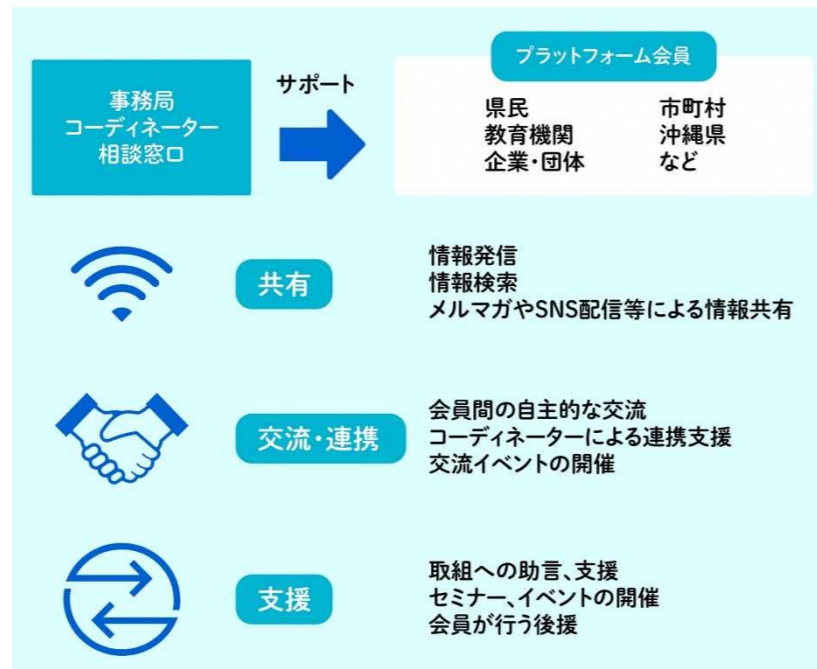
- 【普遍性】 地方創生を含めた取組と国際協力の両面から取り組む
 - 【包摂性】 脆弱な立場におかれた人々に焦点を当てる
 - 【参画型】 多様なステークホルダーの主體的な取組を促進、県民参加型のSDGsを推進
 - 【統合性】 経済・社会・環境の三分野の全てにおける相互関連性・相乗効果を重視
 - 【透明性と説明責任】 取組の実施の状況について、高い透明性を確保して評価、公表
- (※国の「SDGs実施指針改訂版」より)

おきなわSDGsプラットフォーム

SDGsに関連する活動に取り組んでいる、又は関心を持っている企業・団体、自治体、個人等の「情報共有」及び「交流・連携」を図る場として「おきなわSDGsプラットフォーム」を創設しています。

皆様の活動を支援するとともに、会員の取組をはじめとする様々な情報を発信することで、SDGsの普及啓発やさらなる参画の促進を図ります。

おきなわSDGs
プラットフォーム



おきなわSDGs アクションプラン

概要版

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



県民一人ひとりが「自分ごと」として取り組む 持続可能な沖縄の発展を目指して

沖縄らしいSDGsを推進していくため、地域課題の解決とSDGsの目標達成に向けた目標及び実現に向けたアクション等を「おきなわSDGsアクションプラン」としてまとめました。

SDGsを「自分ごと」として捉え、持続可能な沖縄の発展に向けて皆で取り組みましょう。

沖縄県



おきなわSDGsアクションプランの12の「優先課題」と39の「SDGs推進の目標」

「おきなわSDGsアクションプラン」では、優先課題ごとに「SDGs推進の目標」を設定し、SDGsのゴール及びターゲット、モニタリング指標としてのローカル指標を設定するとともに、取組事例を「実現に向けたアクション」としてまとめております。

※「ローカル指標」「実現に向けたアクション」は「おきなわSDGsアクションプラン」(沖縄県HP)参照 →



優先課題

国連の「2030アジェンダ」に掲げる5つのP (People/人間、Prosperity/繁栄、Planet/地球、Peace/平和、Partnership/パートナーシップ) をもとに整理

SDGs推進の目標



性の多様性(LGBT等)、障がいの有無、国籍など、互いの違いを認め合い、一人ひとりが大切にされ、あらゆる場所で活躍できる社会の実現
(多様性の尊重、個人の尊厳)

- ①多様な性を理由とする偏見・差別をなくし、性の多様性が尊重された社会を実現
- ②障がいをはじめとした課題を持つ全ての人々にとって協力的で包摂的なサービス・アクセスを提供する社会を実現
- ③様々な国の生活・文化が理解され、誰もが住みやすい地域の形成を実現
- ④家庭、職場、学校、地域といったあらゆる場面でジェンダー平等、男女の機会均等を実現
- ⑤安全・安心で充実感を持って働くことができる労働環境を促進し、誰もが生き生きと活躍できる社会を実現



医療・福祉の充実、健康長寿と生きがい、子どもを貧困から守る子育てしやすい暮らし

- ①平均寿命及び健康寿命が延び、健康・長寿おきなわの復活を実現
- ②全ての人々に対する普遍的な医療提供体制が充実し、安心して生活できる社会を実現
- ③ひとり親家庭など、支援が必要な方が安心して生活できる環境の形成を実現
- ④高齢者が安心して元気に暮らせる社会を実現
- ⑤安心して子育てができる環境の形成を実現
- ⑥生活困窮世帯の子どもや世帯を支援する官民の枠組みが充実し、子ども達が生き生きと活動できる環境の形成を実現



地域への誇り(しまくとぅばの普及・推進等)と夢・目標をもてる学びの確保、教育の充実

- ①生まれ育った地域の歴史や文化等を学び、地域への愛着と誇りを持った若者が活躍する社会を実現
- ②時代に対応し、生きる力を育む、多様な学びの環境の形成を実現
- ③充実した人生100年時代、再チャレンジを支える学びの環境を実現



基幹産業として持続可能で責任ある観光の推進、観光との連携・相乗効果等も活用した産業振興、県経済の基盤となる安定的な雇用

- ①魅力的な観光産業の展開と生物多様性の両立により、世界に誇る持続可能な観光地(サステナブル・ツーリズム等)の形成を実現
- ②観光との連携・相乗効果も活用し、県内企業の稼ぐ力を強化することで、域内経済循環の拡大や県民所得の向上を実現
- ③沖縄県産農林水産物のブランド化による県外消費と地産地消の促進により農業・林業・水産業の産出額等の拡大を実現
- ④科学技術・イノベーションにより、健康・バイオ・医療関連分野等において、新たな産業等が創出され、持続可能な産業の振興を実現
- ⑤働く意欲のある人に雇用の機会が確保され、沖縄社会全体で完全かつ生産的な雇用を実現



日本とアジア・太平洋のかけ橋となる物流・情報・金融の拠点

- ①アジア・太平洋の国際物流拠点として確立され、公平で開かれた貿易環境を実現
- ②情報通信産業が稼げる産業へと変革し、産業DXを支えるパートナーとして、沖縄の産業の持続的発展に寄与することを実現



地域・世代・分野・文化等を超えた多様な交流と連携の創出

- ①離島等の魅力を活かした地域間の交流が活発に行われるとともに、住民が安心して生活できる社会を実現
- ②世界のウチナンチュとの交流が活発に行われ、次世代へ安定的に継承されていく環境の形成を実現
- ③伝統文化・歴史・伝統行事を若い世代が継承し、世代や国を超えた発信を行い、多様な交流が広がっている社会を実現
- ④多様な文化やスポーツ等の活動や交流、地域の資源を活かした、地域活性化や産業振興、国際交流を実現



気候変動に適應する強靱なインフラと交通網の整備

- ①気候関連災害・自然災害に対する強靱さ(レジリエンス)を備えた地域づくり・まちづくりを実現
- ②2050年度カーボンニュートラルの実現に向け、本県の地域特性に合ったクリーンエネルギーの導入拡大や省エネルギー対策の推進、二酸化炭素吸収源対策等、低炭素で災害に強い、沖縄らしい島しょ型エネルギー社会に向けた基盤形成を実現
- ③環境と人に優しい地域づくり、交通網・まちづくりを実現



世界の島しょ地域における技術・経験の共有と国際貢献・グローバル・パートナーシップ

- ①沖縄の技術や経験を世界各地に発信・共有することで国際貢献を促進
- ②世界各国との交流の推進を通じて、グローバルパートナーシップを促進



多様な生物・生態系や世界自然遺産を含む自然に囲まれた環境の保全、エコアイランドの実現、自然と調和したライフスタイル

- ①美しく豊かな自然が保全され、生物多様性の維持を実現
- ②持続可能な消費・開発、自然と調和したライフスタイルの形成、廃棄物削減などによって資源循環型の社会を実現



基地から派生する諸問題の解決の促進、平和を希求する沖縄として世界平和への貢献・発信

- ①基地から派生する諸問題の解決が進んでいる
- ②平和を希求する「沖縄のこころ」が継承され、国内外に広く発信され、世界平和への貢献を実現



共助・共創型の安全・安心な社会の実現

- ①行政、家庭、企業、ボランティア等の地域社会を構成する各主体が一体となって防災・防犯に取り組み、安全・安心に暮らせる地域を実現
- ②社会的弱者に対する犯罪等の防止や被害者等への支援のための体制や環境の構築を実現
- ③地域課題に行政・地域・企業等の多様な関係者が持ち味をいかしつつ連携して推進するパートナーシップを通じて、共助・共創型の社会を実現



ユイマール(相互扶助)の継承、人の和・地域の和

- ①県民一人ひとりが地域活動に積極的に参画するローカルパートナーシップが充実した社会を実現
- ②地域の伝統行事や文化に若い世代が参加する機会が増え、次世代への継承を実現

